

適材適所の木造・木質化が肝要

ゼネコン対応力さらに強化

プレカット 高めている。

る。

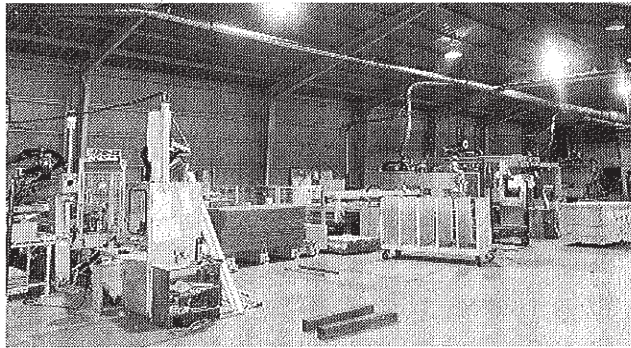
スカイ

大手のスカイ 同社は現在、天竜川 こと最近手がけた大
（静岡県磐田 沿いの本社工場と豊岡 型の木造及び木質化物
市、高橋幸嗣 拠点、羽柄材と合板の 件は、病院施設や警察
社長）は、一 加工を行う船明2拠点 の官舎、保育園や幼稚
般住宅から特 を運営し、月間約1万 園の園舎、グループホ
殊・大型の物 坪のプレカット体制を ーム等の福祉施設など
件まで対応できる体制 構築している。特に金 多数あるが、公共建築
づくりを一貫して進め 物工法については独自 物等木材利用促進法の
ている。特に公共建築 のスカイジョイントの 前に計画が始まった物
物等の木造化の流れに ほか主要メーカー10種 件が多く、「公共系施
は総合力が不可欠であ 類の金物に対応。ま 設の木造化の潮流加速
るとし、ゼネコンとの た、径810㎜材まで はこれから」（高橋社
取引増加を視野に、営 加工できる特殊材加工 長）と分析する。

業スタイルの変更や物 機をはじめ多様な設備 だだし、見方は冷静
流体制の強化など幅広 を所有しており、増加 で、大型の公共建築物
く取り組んでいる。今 が見込まれる非住宅の では木構造の採用は現
夏には設備投資を実施 大型木造物件に対応で 実的にはまだ難しい面
し、加工面の対応力を ざる体制を構築してい が多いとする。それ

は、構造部分の見積も ないと指摘する。この め、同部門を中心に非
りの速度や構造用集成 ため同社では、現実に 住宅の木造化需要への
材のサイズ限界及びコ 沿う形で「適材適所」 対応力を追求してい
ストの問題などがある の木造・木質化を提案 する。
ため、鉄骨やRC造 していく考えだ。

と比較してコストや納 同社には、各種工事 ライン再編では、船明
期に合致しうる流通シ の部分請負から住宅工 地区の社有施設を「船
ステムが確立されてい 事一括請負まで行う工 明合板工場」にリニュ
事 部があ ーアルし、新規2ライ
ンに 対して ンの合板加工体制を構
も設計・施 築。加工規模は1シフ 投資は構造材、羽柄
工管理や木 材、建材・ 材、合板の各加工セク 善にも取り組んでお
材・建材・ った。幅広長尺合板に ションに同等規模の能 り、配送拠点の整備
住設の販売 も対応できるため、外 力を持たせて、多様な や、自社でトラックや
等を進めて 壁サイディングのプレ 需要に安定的に対応し 人員を用意して配送の
いる。ゼネ カット受注も視野に入 っていくのが目的だ。ま 効率化を図っている。



今夏に新たに開設した船明合板工場

において 一方、船明パネル工 工程管理の 場は「船明羽柄材工 能力や技術 場」となり、新たに高 力、知識、 速羽柄3次元加工機を 資材調達力 追加して計4ラインの など総合力 羽柄材プレカット体制 が強く求め を構築。需要対応力を られるた 拡充した。一連の設備